

DERWENT-ACC-NO: 2003-642384

DERWENT-WEEK: 200361

COPYRIGHT 2004 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Parking tending machine installed in pay parking lot,
has lottery apparatus that is operated during parking
expense settlement operation such that parking expense of
user is returned according to winning condition of user

PATENT-ASSIGNEE: NIPPON PACKING CO LTD[NIPAN]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0036988 (February 14, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2003242539 A	August 29, 2003	N/A	005	G07B 015/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2003242539A	N/A	2002JP-0036988	February 14, 2002

INT-CL (IPC): G07B015/00, G07C015/00 , G07F009/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003242539A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The parking tending machine has a charge settlement unit provided with a lottery apparatus such as roulette. During the parking charge settlement operation, the lottery apparatus is operated and the parking expense of the user is returned according to the winning condition of the user with respect to the lottery apparatus.

USE - Parking tending machine equipped with lottery apparatus such as roulette, installed in pay parking lot.

ADVANTAGE - By providing the lottery apparatus along with the parking tending machine, the parking service and gaming service are efficiently provided to the

user.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a block diagram of the parking tending machine. (Drawing includes non-English language text).

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: PARK TEND MACHINE INSTALLATION PAY PARK LOT LOTS
APPARATUS OPERATE

PARK EXPENSE SETTLE OPERATE PARK EXPENSE USER RETURN
ACCORD WINNING
CONDITION USER

DERWENT-CLASS: T05

EPI-CODES: T05-C; T05-C03; T05-F; T05-H;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-511598

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-242539

(P2003-242539A)

(43) 公開日 平成15年8月29日 (2003.8.29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード* (参考)
G 0 7 B 15/00		G 0 7 B 15/00	N 3 E 0 2 7
			R 3 E 0 3 8
G 0 7 C 15/00		G 0 7 C 15/00	Z 3 E 0 4 4
G 0 7 F 9/00		G 0 7 F 9/00	C

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2002-36988(P2002-36988)

(22) 出願日 平成14年2月14日 (2002.2.14)

(71) 出願人 394010403

日本パーク株式会社

福岡県大野城市仲畑4丁目4番18号

(72) 発明者 安藤 清規

福岡県大野城市仲畑4丁目4番18号 日本
パーク株式会社内

(72) 発明者 安藤 政人

福岡県大野城市仲畑4丁目4番18号 日本
パーク株式会社内

(74) 代理人 100119644

弁理士 綾田 正道 (外3名)

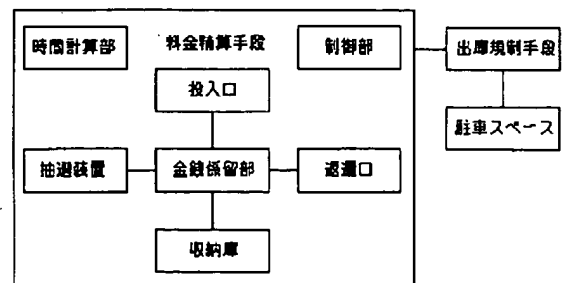
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 当たり装置付き駐車管理機

(57) 【要約】

【課題】 駐車場にルーレット等の抽選機構を設置し、当選した場合には料金の返還を行ない、駐車料金のサービス、ゲームの提供を行なう。

【解決手段】 車両が入庫する駐車スペースと、駐車スペースからの出庫を規制する出庫規制手段と、駐車費用の精算を行なう料金精算手段とを有し、料金精算手段で駐車費用を精算することによって出庫規制手段が解除され、出庫が可能となる駐車管理機において、料金精算手段に抽選装置を設置し、精算時に抽選装置が作動し、当選した場合には駐車費用を返還する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車両が入庫する駐車スペースと、駐車スペースからの出庫を規制する出庫規制手段と、駐車費用の精算を行なう料金精算手段とを有し、料金精算手段で駐車費用を精算することによって出庫規制手段が解除され、出庫が可能となる駐車管理機において、料金精算手段に抽選装置を設置し、精算時に抽選装置が作動し、当選した場合には駐車費用を返還することを特徴とする当たり装置付き駐車管理機。

【請求項2】 前記料金精算手段には投入された金銭が一時係留する金銭係留部が備えられ、投入された金銭はカウントされた後一時金銭係留部に係留し、駐車料金が全額カウントされた後に、出庫規制手段が解除されると共に、抽選装置が作動し、当選した場合には金銭係留部から返却口へ金銭が返還され、落選した場合には金銭係留部の金銭は収納庫へ収納されることを特徴とする請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機。

【請求項3】 前記料金精算手段には釣銭払出し手段が備えられ、投入された金銭は直接収納庫に収納され、駐車費用の返還は釣銭払出し手段によって行なわれることを特徴とする請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機。

【請求項4】 前記駐車費用の返還に代えて割引、プリペイドカードの発行、割引券の発行のいずれかを行なうことを特徴とする請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は有料駐車場に設置する当たり装置付き駐車管理機に関する。

【0002】

【従来の技術】一般的に、駐車場には契約車を対象とした有料駐車場の他、一般車を対象とした時間計算の有料駐車場等があり、これらのうち時間計算の有料駐車場は自動計算機が駐車時間を計算し、料金を収受するしくみとなっている。そして、これらの駐車場は、駐車スペースにそれぞれロック板を設置し、車両の進入を検知してロック板が上昇し、出庫時には料金の精算を検知してロック板を下降させる構成となっている。この他、駐車場の入り口にゲートを設置し、入庫時に時刻を記録したカードをゲートで受け取り、出庫時にカードを自動計算機に差し込んで精算を行なう駐車場がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】かかる従来の駐車場は料金を機械的に収受するシステムであるが、サービス、ゲーム感覚の機能は付与されていない。本発明はかかる従来の問題点を解決するためになされたものであって、その目的とするところは、駐車場にルーレット等の抽選機構を設置し、当選した場合には料金の返還を行ない、駐車料金のサービス、ゲームの提供を行なう当たり装置

付き駐車管理機を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するための手段として本発明請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機では、車両が入庫する駐車スペースと、駐車スペースからの出庫を規制する出庫規制手段と、駐車費用の精算を行なう料金精算手段とを有し、料金精算手段で駐車費用を精算することによって出庫規制手段が解除され、出庫が可能となる駐車管理機において、料金精算手段に抽選装置を設置し、精算時に抽選装置が作動し、当選した場合には駐車費用を返還する構成とした。

【0005】請求項2記載の当たり装置付き駐車管理機では、請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機において、前記料金精算手段には投入された金銭が一時係留する金銭係留部が備えられ、投入された金銭はカウントされた後一時金銭係留部に係留し、駐車料金が全額カウントされた後に、出庫規制手段が解除されると共に、抽選装置が作動し、当選した場合には金銭係留部から返却口へ金銭が返還され、落選した場合には金銭係留部の金銭は収納庫へ収納される構成とした。

【0006】請求項3記載の当たり装置付き駐車管理機では、請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機において、前記料金精算手段には釣銭払出し手段が備えられ、投入された金銭は直接収納庫に収納され、駐車費用の返還は釣銭払出し手段によって行なわれる構成とした。

【0007】請求項4記載の当たり装置付き駐車管理機では、請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機において、前記駐車費用の返還に代えて割引、プリペイドカードの発行、割引券の発行のいずれかを行なう構成とした。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の実施の形態を説明する。図1は本発明の当たり装置付き駐車管理機のブロック図、図2は本発明の当たり装置付き駐車管理機の流れを示すフローチャート、図3は本発明を適用した駐車場の説明図である。本発明の一実施の形態に係る当たり装置付き駐車管理機は図1に示すように、車両が駐車する駐車スペースと、その駐車スペースに設置された出庫規制手段と、出庫規制手段に指令を送信して制御する料金精算手段を主要な構成としている。

【0009】駐車場の構成としては図3に示すように、駐車スペース1の地面にロック板2（出庫規制手段）を昇降自在に固定し、車両の入庫を検知してロック板2（出庫規制手段）を上昇させ、車両の出庫を阻止する構成のものがある。この駐車場は各駐車スペースに個別に料金精算手段3を備え、出庫時に駐車時間に応じた料金を投入すると、ロック板2が下降し、出庫できるシステムとなっている。この、料金精算手段3としては各駐車スペースに個別に設置する構成の他、複数の駐車スペースを一台の料金精算手段で一括管理する構成のものがあ

る。

【0010】前記料金精算手段は時間計算部、制御部を有し、駐車時間に応じて費用を収受し、全額収受したことを確認して、制御部が出庫規制手段に解除信号を送るシステムとなっている。また、料金精算手段は金銭の投入口、投入した金銭が一時係留する金銭係留部、費用返還の抽選を行なう抽選装置、費用の返還口、最終的に金銭を保管する収納庫を有している。

【0011】前記抽選装置は料金精算手段の表示部に視認できる状態で設置され、発光部を回転可能に配置し、発光をルーレット様に回転させて、発光が当選位置で停止した場合に当選とし、その他の場合には落選とする機構である。尚、この抽選装置としては番号等を回転させて、当たり番号が表示された場合に当選とする機構等任意に設定することができる。この抽選装置は一定の確率で当たりを発生させる機構であり、当選確率は任意に設定することができる。また、当選は順番に発生するようにしても良い。

【0012】料金精算手段の表示部は一例として図4に示すような電光掲示、液晶表示等の画面によって構成される。図4(イ)は出庫時の表示であり、駐車番号を選択して費用の精算を行なう。(ロ)は入庫時にフラップが上昇中であることを表示している。(ハ)は出庫時に駐車番号を選択してその料金が表示されている。(ニ)は抽選装置が作動した状態であり、発光がルーレット状に回転する。抽選終了後は(ホ)(ヘ)の画面に切り換わり、出庫できる状態となる。

【0013】次に、図2に基づいて、装置付き駐車管理機の使用方法を説明する。まず、駐車場の利用者は出庫時に料金精算手段へ金銭を投入する(S1)。この投入口は硬貨あるいは紙幣の投入口であり、投入された金銭はカウントされて、カウント値が駐車費用に達すると、制御部から出庫規制手段へ解除信号が送られ、出庫ができる状態となる(S2)。ここで、投入された金銭は一時金銭係留部に係留し、金銭のカウントが駐車費用に達すると、出庫規制が解除されると共に、抽選装置が自動的に作動する(S3)。抽選の結果、当選か落選が表示がなされる(S4)。この抽選は料金精算手段に設定された表示部によって利用者が視認できる状態で行なわれ、当選か落選が視覚的に把握できる。

【0014】当選した場合には、金銭係留部に係留していた金銭が返還口へ送出され、費用が返還される(S5)。この返還金銭は利用者が投入したものであるもので、別途収納庫から取り出して返還する必要がない。落選した場合には金銭係留部の金銭は収納庫へ送出される。利用者は当選か落選かを確認した後、解除された出庫規制手段を通過して出庫する(S6)。

【0015】次に、実施の形態2に係る当たり装置付き駐車管理機について説明する。実施の形態2にかかる当たり装置付き駐車管理機は、入場時に時刻情報の記録さ

れた磁気カード、時刻情報が刻印されたカード等を受け取り、出庫時にこれらのカードを自動計算機に挿入し、表示された金額を投入して出庫するシステムに適用する装置である。これらのシステムでは、入庫時にカードを受け取るので、カード発行後に抽選を行ない、出庫時には既に抽選結果に基づき、表示部に抽選結果が表示され、「30分無料サービス」「1時間無料サービス」「2時間無料サービス」等の表示を行なう。そして、その表示に基づいて料金を投入し、ゲート等の出庫規制手段を解除させて出庫する。抽選装置としては駐車場内に料金精算手段とは別途設置し、出庫に先だって抽選を行ない、その結果に基づいて料金精算手段で精算を行なう。抽選装置の構造としては前記実施の形態1と同様に任意である。

【0016】次に、実施の形態3に係る当たり装置付き駐車管理機について説明する。前記実施の形態では投入された金銭は一時金銭係留部に係留する構成としたが、実施の形態3の装置では、料金精算手段には釣銭払出し手段が備えられ、投入された金銭は直接収納庫に収納され、駐車費用の返還は釣銭払出し手段によって行なわれる構成となっている。釣銭払出し手段の機構は一般の自動販売機と同様の機構である。このため、当選した場合は釣り銭払出部の方から戻され、投入金額の一部払い戻し等が可能となる。

【0017】以上、本発明の実施の形態を説明してきたが、本発明の具体的な構成は本実施の形態に限定されるものではなく、発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等があっても本発明に含まれる。例えば、前記実施の形態においては、金銭を返還する構成としたが、割引券の発行、プリペイドカードの発行等を行なうことも可能である。

【0018】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明請求項1記載の当たり装置付き駐車管理機においては、料金精算手段に抽選装置を設置し、精算時に抽選装置が作動し、当選した場合には駐車費用を返還する構成としたので、ルーレット等の抽選装置によってゲームの提供を行なうことができる。また、それに伴って、駐車費用の返還サービスを行なうことができる。

【0019】請求項2記載の当たり装置付き駐車管理機においては、当選した場合には金銭係留部から返却口へ金銭が返還される構成としたので、返還に際して複雑な返還機構を必要とせず、簡易な返還機構が構成される。

【0020】請求項3記載の当たり装置付き駐車管理機においては、駐車費用の返還は釣銭払出し手段によって行なわれるので、返還時に費用の一部返還等を行なうことができる。

【0021】請求項4記載の当たり装置付き駐車管理機においては、駐車費用の返還に代えて割引、プリペイドカードの発行、割引券の発行のいずれかを行なう構成と

5

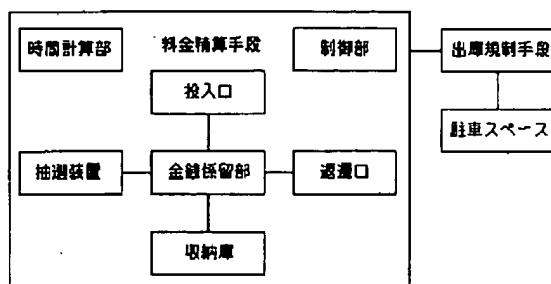
したので、装置の簡略化と共に、多様なサービスを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

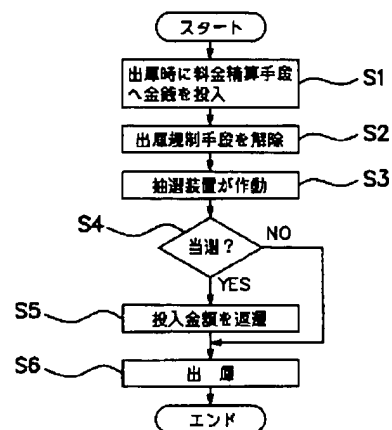
【図1】当たり装置付き駐車管理機のブロック図である。

【図2】当たり装置付き駐車管理機の流れを示すフローチャートである。

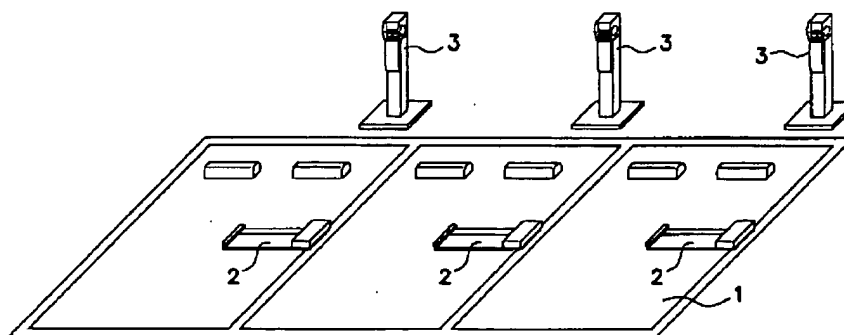
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

(イ)

選択した 駐車番号	数字を下配選択 ボタンにて駐車 した番号を表示 させて下さい
10	


(ロ)

精算する 駐車番号	フラップ上昇の 待機中出庫危険 約3分後に再度 精算して下さい
10	

(ハ)

精算する 駐車番号	駐 車 料 金 ¥123400 時間1259分
10	

(ニ)

	ゲームスタート！ 領収書の必要な方は 発行ボタンを押して 下さい
--	---

(ホ)

領収書は下配発行ボタンを 押して下さい。車に乗り込 む時に必ず2枚のフラップ の降下を確認して下さい

(ヘ)

領収書発行中しばらく お待ち下さい。車に乗り込 む時に必ず2枚のフラップ の降下を確認して下さい

 フロントページの続き

Fターム(参考) 3E027 EA03 EB01 EB05 EC08 EC10
 3E038 AA07 BA08 BB03 CA02 DA01
 DA07 DB02 FA02 GA01 LA10
 3E044 AA11 BA01 BA02 BA06 CA05
 CB03 DE04 EB01